

※必要項目の記載・捺印後、お客様、販売店様ともコピー保管をお願いいたします。
 ※本確認書はお客様とのご契約前に三菱電機販売会社へ提出をお願いいたします。

EV用パワーコンディショナ「SMART V2H(EVP-SS60B3-M7/Y7/Y7W)」ご購入前の確認書

お客様	
下記内容について、販売店より説明を受け、承諾しました。	
ご説明実施日	年 月 日
会社名(法人様の場合)	氏名
住所 〒	印
電話番号	

EVP-SS60B3-M7	EVP-SS60B3-Y7	EVP-SS60B3-Y7W	※決定したモデル名に○を付けてください。
---------------	---------------	----------------	----------------------

塩害地域②	該当・非該当	※「SMART V2H」の設置場所が塩害地域②(海岸線より500m以上(瀬戸内海地域は50m以上)の塩害地域)の場合は該当に○を、該当しない場合は非該当に○を付けてください。
-------	--------	---

販売店様	
お客様に以下の内容について説明を実施し、ご理解・ご承諾いただきました。	
会社名	代表者名
所在地 〒	印
電話番号	担当者名

【確認事項】

■電気自動車(EV)との接続について

1		ご使用いただける車種は三菱自動車工業「MiEV(ミープ)シリーズ」「アウトランダーPHEV」、日産自動車「リーフ」「e-NV200」、トヨタ自動車「プリウスPHV」となります(2項の表参照)。但し、同車種でも急速充電口付きの給電(V2H)対応車種に限ります。「i-MiEV」の型式HA3W、「MINICAB-MiEV VAN」の型式U67V、「リーフ」の車台番号[ZEO-]で始まる車両と、車台番号「AZE0-05001~053467」の車両では、ソフトウェア改修の改修(有料)が必要となる場合があります。車両のソフトウェア改修の要否、費用、詳細につきましては自動車販売店にご確認ください。 ※「SMART V2H」は「電動自動車用充放電システムガイドライン V2H DC版 EVPS-002:2014 2.1版」に基づきます。																																																																								
2		車両の仕様により、駆動用蓄電池へ充電できる容量や駆動用蓄電池から給電できる容量が制限されます。自立運転時に車両の電力が放電下限値を下回っている場合は給電も充電もできません。更に「SMART V2H」は太陽光発電設備(PV)との連携もできません。三菱電機が把握する車両毎の充放電仕様を下表にまとめましたので、お客様ご使用の車両にチェックを入れご確認ください。 ※車両の仕様についてはご購入前に自動車販売店にご確認ください。 ※「SMART V2H」は非常時用として車両に電力を残すため、系統連系運転時は車両の放電下限値+5%を放電下限とする仕様です(自立運転時は車両の放電下限値まで放電可能)。 <div style="text-align: right; font-size: small;"><2020年4月時点></div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th>自動車メーカー</th> <th>車種</th> <th>年式</th> <th>チェック</th> <th>総電力量</th> <th>充電上限</th> <th>放電下限</th> <th>備考 ※□□□□□には数字が入ります。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">三菱自動車工業株式会社</td> <td rowspan="2">i-MiEV</td> <td>2010年式</td> <td style="background-color: yellow;"></td> <td>16kWh</td> <td rowspan="2">約85%</td> <td rowspan="5">約30%</td> <td>車台番号: HA3W-00□□□□□□</td> </tr> <tr> <td>2010年式を除く</td> <td style="background-color: yellow;"></td> <td>10.5kWh</td> <td>車台番号: 2010年式とは異なる番号</td> </tr> <tr> <td colspan="2">MINICAB-MiEV VAN</td> <td>全年式</td> <td style="background-color: yellow;"></td> <td>16kWh</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">MINICAB-MiEV TRUCK</td> <td>全年式</td> <td style="background-color: yellow;"></td> <td>10.5kWh</td> <td>約95%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">アウトランダーPHEV</td> <td>2013年式 2013年式を除く 全年式</td> <td style="background-color: yellow;"></td> <td>12kWh 13.8kWh</td> <td>約40% 約20%</td> <td>車台番号: GG2W-00□□□□□□ 車台番号: 2013年式とは異なる番号</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">日産自動車株式会社</td> <td rowspan="3">リーフ</td> <td>全年式</td> <td style="background-color: yellow;"></td> <td>62kWh 40kWh 30kWh 24kWh</td> <td rowspan="3">約100%</td> <td rowspan="3">約10%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="background-color: yellow;"></td> <td>40kWh</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="background-color: yellow;"></td> <td>24kWh</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>e-NV200</td> <td>全年式</td> <td style="background-color: yellow;"></td> <td>40kWh 24kWh</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>トヨタ自動車株式会社</td> <td>プリウスPHV</td> <td>※1</td> <td style="background-color: yellow;"></td> <td>8.8kWh</td> <td>約100% (※2) 約0% (※2)</td> <td>※1: 2019年5月に実施した改良による「乗車定員5名の車両」が対象です。 ※2: 環境温度、車両の状態等の諸条件により、充電上限、放電下限にならない場合があります。V2H接続時の実使用可能容量は総電力量とは異なります。</td> </tr> </tbody> </table>	自動車メーカー	車種	年式	チェック	総電力量	充電上限	放電下限	備考 ※□□□□□には数字が入ります。	三菱自動車工業株式会社	i-MiEV	2010年式		16kWh	約85%	約30%	車台番号: HA3W-00□□□□□□	2010年式を除く		10.5kWh	車台番号: 2010年式とは異なる番号	MINICAB-MiEV VAN		全年式		16kWh			MINICAB-MiEV TRUCK		全年式		10.5kWh	約95%		アウトランダーPHEV		2013年式 2013年式を除く 全年式		12kWh 13.8kWh	約40% 約20%	車台番号: GG2W-00□□□□□□ 車台番号: 2013年式とは異なる番号	日産自動車株式会社	リーフ	全年式		62kWh 40kWh 30kWh 24kWh	約100%	約10%				40kWh				24kWh			e-NV200	全年式		40kWh 24kWh				トヨタ自動車株式会社	プリウスPHV	※1		8.8kWh	約100% (※2) 約0% (※2)	※1: 2019年5月に実施した改良による「乗車定員5名の車両」が対象です。 ※2: 環境温度、車両の状態等の諸条件により、充電上限、放電下限にならない場合があります。V2H接続時の実使用可能容量は総電力量とは異なります。
自動車メーカー	車種	年式	チェック	総電力量	充電上限	放電下限	備考 ※□□□□□には数字が入ります。																																																																			
三菱自動車工業株式会社	i-MiEV	2010年式		16kWh	約85%	約30%	車台番号: HA3W-00□□□□□□																																																																			
		2010年式を除く		10.5kWh			車台番号: 2010年式とは異なる番号																																																																			
	MINICAB-MiEV VAN		全年式		16kWh																																																																					
	MINICAB-MiEV TRUCK		全年式		10.5kWh		約95%																																																																			
	アウトランダーPHEV		2013年式 2013年式を除く 全年式		12kWh 13.8kWh		約40% 約20%	車台番号: GG2W-00□□□□□□ 車台番号: 2013年式とは異なる番号																																																																		
日産自動車株式会社	リーフ	全年式		62kWh 40kWh 30kWh 24kWh	約100%	約10%																																																																				
				40kWh																																																																						
				24kWh																																																																						
	e-NV200	全年式		40kWh 24kWh																																																																						
	トヨタ自動車株式会社	プリウスPHV	※1		8.8kWh	約100% (※2) 約0% (※2)	※1: 2019年5月に実施した改良による「乗車定員5名の車両」が対象です。 ※2: 環境温度、車両の状態等の諸条件により、充電上限、放電下限にならない場合があります。V2H接続時の実使用可能容量は総電力量とは異なります。																																																																			
3		「SMART V2H」と接続している車両は、給電・充電動作をおこなわない場合でも、駆動用蓄電池から電気を消費します。また、一般的にリチウムイオン蓄電池の特性として時間の経過や使用状況により使用可能な電力量が減少します。詳しくは各自動車販売店にご相談ください。																																																																								
4		自立運転時に、車両の充電率が高く宅内負荷が小さい状態で、PVの発電量が大きくなると、PVを停止させる場合があります。(「EVの充電可能電力+宅内負荷<PV電力」のケース)																																																																								
5		【三菱自動車工業「MiEV(ミープ)シリーズ」「アウトランダーPHEV」をご使用の場合】 ・車両の駆動用蓄電池の性能維持のため、できる限り2週間に1回程度は普通充電で満充電にしてください。なお、2週間に1回程度、普通充電で満充電されない場合は、車両の駆動用蓄電池の実容量とリモコンの表示値がずれる場合があります。 普通充電するため、屋外用AC200Vコンセント(普通充電専用)の設置をおすすめします。 ・「SMART V2H」使用時は、急速充電口に接続するため、MiEV(ミープ)リモート、もしくは三菱リモートコントロール(アウトランダーPHEV)のうちタイマー充電とプレ空調機能はご使用になることができません(普通充電ケーブル接続時のみご使用いただけます)。 効率的に「SMART V2H」をご使用いただくため、ある程度の負荷がある状態でのご使用をおすすめします。 ・「アウトランダーPHEV」はエンジンがかかった状態もしくはイグニッションONの状態では「SMART V2H」による充電・給電はできません。 ・使用する車両により「SMART V2H」の設定を変更する必要があり、一部の機能が制限されます。 【日産自動車「リーフ」・「e-NV200」をご使用の場合】 ・誤動作する場合がありますため、EV-IT機能はご使用になることができません。																																																																								

■太陽光発電設備(PV)との接続について

1		10kW未満のPVが設置されている場合は、EVP-SS60B3-Y7(PV用パワーコンディショナは1台のみ(定格出力6.0kWまで)の場合)、またはEVP-SS60B3-Y7W(PV用パワーコンディショナは2台、PV容量は6kW超の場合)を選択されると余剰買取単価が適用されます。EVP-SS60B3-M7を選択されるとダブル発電扱いとなり、PV買取単価が下がります。
2		「SMART V2H」に直接接続できるPV用パワーコンディショナは1台のみ(定格出力6.0kWまで)に限定されます。 同一システム内にこれ以外のPV用パワーコンディショナと接続する場合は、引込口装置(サービスブレーカ)の負荷側に接続することになります。このケースで選択できる形名はシステム構成上、EVP-SS60B3-M7(6kW超のPV容量の場合)、またはEVP-SS60B3-Y7W(6kW超10kW未満のPV容量の場合)となります。 EVP-SS60B3-M7をご選択いただいた場合、「SMART V2H」のリモコン上に表示されるPVの発電量は「SMART V2H」に直接接続したPV用パワーコンディショナ1台分のみとなります。 EVP-SS60B3-Y7Wをご選択いただいた場合でも、「SMART V2H」の自立運転時にPV連携できるのは「SMART V2H」に直接接続したPV用パワーコンディショナは1台のみ(定格出力6.0kWまで)に限定されます。
3		当社で接続確認を行っているPV用パワーコンディショナとの組み合わせであれば、停電時もPVで発電した電力を有効に活用いただくことができます。 詳しくは当社販売会社にご相談ください。 * 運転開始時の起動電流が大きい製品を接続した場合、PV用パワーコンディショナが停止して使用できない場合があります。
4		「SMART V2H」に接続可能なPV用パワーコンディショナの出力電気方式は、単相2線式200V(単相3線式の配電線に接続)の仕様に限ります。 単相3線式200V出力、単相3線式(100V×2組)出力、三相3線式200V出力のPV用パワーコンディショナは「SMART V2H」に接続できません。

■「SMART V2H」について

1	ご購入後に形名の変更はできません。
2	「SMART V2H」は電気代の節約を通じて、製品価格や工事代の投資回収を保証するものではありません。
3	車両への充電、および車両からの放電には直流・交流の電力変換による電力損失が発生します。電力変換効率は「SMART V2H」の運転モード、車両の駆動用蓄電池の電圧やご使用の環境等によって変化します。また、「SMART V2H」は待機時も電力を消費しています。
4	「SMART V2H」はUPS(無停電装置)ではありません。したがって、商用電力側で瞬時停電が発生した場合には、「SMART V2H」の出力も瞬時停電が発生します。なお、車両からの充放電の切り替え時には、瞬時停電は発生しません。
5	電力会社との取り決めにより車両に充電した電気を売電することはできません。「SMART V2H」から系統へ逆潮流を防止するために、0.1～0.2kW程度買電する場合があります。
6	「SMART V2H」に接続できる許容電流(契約電力)は50A(10kVA)です。50A(10kVA)を超えて契約するお客様は回路分岐工事が必要となります(有料)。また分岐された負荷には、停電時に「SMART V2H」から給電できません。
7	自立運転時に総容量6kVA・片相容量5kVA(各相のご使用電力差が4kVAを超えると運転を停止する場合があります。)を超える消費電力が大きい機器(例:複数台のエアコンの同時使用やポンプ・家庭用エレベーター)を使用すると、過負荷により「SMART V2H」が停止する場合があります(6kVA以下に負荷を減らし、手動で自立運転を再始動していただく必要があります。)
8	一部の電熱機器(ヘアドライヤー、電気ストーブ、ホットカーペット等)で「SMART V2H」をご使用されると、「SMART V2H」の運転が停止する場合があります。
9	同一システム内に「SMART V2H」と定置型蓄電池、家庭用燃料電池システム「エネファーム」、ガス発電・給湯暖房システム「エコウィル」を接続する場合は、引込口装置(サービсплаーク)の負荷側に接続し、負荷を分けた独立配線することで、併設可能となります。このケースで選択できる形名はシステム構成上、EVP-SS60B3-M7となります。また、一部の定置型蓄電池および「エネファーム」で、同じ負荷の場合でも併設可能なモデルもありますので、詳しくは当社販売会社にご相談ください。
10	「SMART V2H」が使用可能な温度範囲は-20～+40℃(-20℃以下では保護機能が動作するため運転停止します。保護機能は-15℃(目安)以上になると解除されます。)です。直射日光があたる場所は避けてください。また車両に充電ケーブルが届く位置に設置し、製品の冷却およびメンテナンス時の作業空間のために、製品の前面/上面は1m以上、左側面は0.5m以上、右側面は0.52m以上、背面は0.2m以上のスペースを確保してください。使用温度範囲を外れた場合や、降雪等で吸気口や排気口が塞がれて排熱できなくなった場合は、出力を抑えたり運転を停止したり、故障の原因になることがあります。更にメンテナンス時の追加費用発生の原因になることもあります。
11	「SMART V2H」は以下の場所には設置できません。 ・ガス類や引火物の近く(ガスボンベからは2m以上離す) ・温泉など腐食物質(硫黄やアンモニアなど)が存在するところ ・物置など換気の少ない密閉された狭い空間 ・浴室の窓付近など蒸気が存在し、湿気の多い場所 ・冷気が直接あたり結露するところ ・過度の水蒸気、煙、塵埃、塩分が存在するところ ・振動または衝撃を受けるところ ・テレビ、ラジオのアンテナやケーブルに近いところ(3m以上離す) ・積雪するところ、落雪するところ、雪の吹きだまる場所 ・降雨時に冠水し、水につかるような場所 ・常に水に濡れるところ ・特殊な条件下(船舶、自動車など) ・アスファルトの上への直接施工(コンクリート基礎を準備) ・重塩害地域、塩害地域②を除く塩害地域(屋内・屋外とも設置不可) ※塩害地域②: 海岸線より500m以上(瀬戸内海地域は50m以上)の塩害地域。 潮風に直接さらされることを回避するような場所に設置してください。 また、本体に塩分などが付着する場所では雨水等によって洗浄されるように配慮してください。 ※海水湖・汽水の湖岸、運河・湾の岸は、海岸と同様に扱います。設置の可否は岸からの直線距離で判断しております。詳しくは販売店にご相談ください。
12	心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器(ICD)を使用している方は、運転中に「SMART V2H」に近づかないでください。「SMART V2H」の電磁波が心臓ペースメーカー、ICDの動作に影響を与えるおそれがあります。
13	人命に直接かかわる人工呼吸器、酸素濃縮装置などの医療機器には接続しないでください。高度な信頼性が要求される設備や機器として使用する場合は、故障に対する保護対策および安全設計に考慮し適切な処置をおこなってください。万一、これらの設備や機器に使用されたことにより人身事故、火災事故、および損害などが生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。
14	【自立運転時の起動用電池のリサイクルについて】 リチウムイオン電池を使用しており、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済み製品の廃棄方法に関しては自治体により回収ルールが異なりますので、お住まいの自治体にお問い合わせのうえ、リサイクルにご協力をお願い致します。 【自立運転時の起動用電池に関する注意点について】 停電時に10分以内に自立運転を開始しない場合に電池の容量低下を防ぐため、スリープ状態となりますが、その持続時間の目安は2日間程度です。その持続時間を超えると、停電時に自立運転を開始できない場合や電池の交換(有料)が必要となる場合があるため、以下の点にご注意ください。 ・停電時は、速やかに自立運転を開始してください。 ・自立運転を開始する時は、EVと接続してください。 ・停電時でない場合でも受電用主幹漏電ブレーカと保守用ブレーカを「OFF」にしないでください。 なお、スリープ状態ではリモコンの電源ランプが消え、操作画面が表示されません。スリープ状態を解除するには「SMART V2H」本体側面の「充電開始/スリープ解除」ボタンを押してください。
15	充電ケーブルやファンは「SMART V2H」をご使用になる期間や頻度、環境などの条件により劣化の度合いが異なるため交換(有料)が必要な場合があります。塩害地域に設置する場合は、ご使用開始から一定期間(目安:約6年半)経過するとリモコンの画面に充電ケーブルの交換のお知らせが表示されますので、早めに交換(有料)してください。交換につきましては三菱電機修理窓口にご相談ください。
16	雨や雪で濡れた後の急激な温度低下による凍結により本体の操作ボタン、充電ケーブルのコネクタの解除レバーが操作できない場合があります。その場合は、氷を溶かすために、しばらく時間をおいて操作してみたり、操作ボタンや充電ケーブルのコネクタの解除レバーに温めた布を当ててみてください。また、耐寒ビニール製の腕カバーを充電コネクタにつけるなどの凍結予防策をおためしください。
17	電気料金の契約内容によって、電気料金に変更になる場合もあります。事前に電力会社様にご相談ください。
18	一般 補助 お問 「令和元年度補正、および令和2年度「クリーンエネルギー自動車導入事業費補助金」の受付は終了しました。 令和3年1月29日(金)までの実績報告が間に合わない場合は補助金が交付されませんのでご注意ください。 。

■その他

1	「SMART V2H」の内蔵蓄電池が放電し、「SMART V2H」本体が使用できなくなり、電池の交換(有料)が必要となる場合があるため、以下の注意事項を守ってください。 ●「SMART V2H」を納品後は、3ヶ月以内に設置してください。 ●設置後は「SMART V2H」本体内の蓄電池用ブレーカ(MCCB1)を必ず「ON」にして内蔵蓄電池が系統電力から充電されるようにしてください。
---	---

本確認書にご記入いただいたお客様及び販売店の個人情報は、三菱電機株式会社が適切に管理すると共に、製品のサービス活動、安全点検および当社が取り扱う商品、サービスのご紹介等のために利用させていただきます。なお、上記の使用目的のためにお客様の個人情報を業務上関連する会社へ提供することがありますので、予めご了承をお願いいたします。

- 「MIEV(ミープ)」「アウトランダー」は、三菱自動車工業株式会社の登録商標です。
- 「リーフ」「e-NV200」は、日産自動車株式会社の登録商標です。
- 「プリウス」は、トヨタ自動車株式会社の登録商標です。
- 「エネファーム」は、東京ガス株式会社・大阪ガス株式会社・JX日鉱日石エネルギー株式会社の登録商標です。
- 「エコウィル」は、大阪ガス株式会社の登録商標です。

三菱電機販売会社記入欄

販売担当部門・担当者(MD)

販売ルート